

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第5区分
【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公表番号】特表2011-504845(P2011-504845A)
【公表日】平成23年2月17日(2011.2.17)
【年通号数】公開・登録公報2011-007
【出願番号】特願2010-535308(P2010-535308)
【国際特許分類】
 B 6 4 D 11/04 (2006.01)
【FI】
 B 6 4 D 11/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベースプレート(2)と、支持体(5)とを有し、かつ航空機におけるギャレーモジュールなどのアセンブリの高さを手動で調整するデバイス(1)であって、

2つの対向するウェッジ体(3、4)が、前記ベースプレート(2)と前記支持体(5)との間を、前記高さ調整のために移動可能にガイドされるように配置され、前記ウェッジ体(3、4)は縦軸(8)に対して平行に移動しないように固定されることができ、そして実質的に長方形の前記ベースプレート(2)の上面(6)の少なくとも複数の領域は、ベースプレート歯(24)を有することを特徴とする、デバイス(1)。

【請求項2】

前記ベースプレート(2)の上面(6)の少なくとも複数の領域は、アリ凸部などの凸部(7)を有し、

前記凸部(7)は、それぞれの前記ウェッジ体(3、4)の底面(9、10)の領域に形成されたアリ溝などの溝(11、12)に挿入され、

それぞれの前記ウェッジ体(3、4)は、前記ベースプレート(2)の縦軸(8)に対して平行に移動可能にガイドされることを特徴とする、請求項1に記載のデバイス(1)。

【請求項3】

それぞれの前記ウェッジ体(3、4)は、手動で前記縦軸(8)に対して垂直方向に回転されうるロックレバー(26、27)を収容し、

前記ロックレバー(26、27)の底面(28、29)の少なくとも一部の領域は、ロックレバー歯(30、31)を有し、前記ロックレバー(26、27)を下方に回転することで、前記ロックレバー歯(30、31)と、前記ベースプレート歯(24)とが噛み合い、前記ウェッジ体(3、4)の位置を固定することを特徴とする、請求項1または2に記載のデバイス(1)。

【請求項4】

前記ロックレバー(26、27)には、それぞれの前記ロックレバー歯(30、31)と前記ベースプレート歯(24)とが噛み合うように、シリンダスプリング(37、38)などのパネによって応力が加えられ、前記ベースプレート(2)上における前記ウェッジ体(3、4)の位置が固定されることを特徴とする、請求項3に記載のデバイス(1)。

)。

【請求項 5】

それぞれの前記ロックレバー(26、27)は、ストッパー(39、40)などの固定手段によって意図せぬ上方への回転、および汚れの粒子の侵入から守られることを特徴とする、請求項3又は4に記載のデバイス(1)。

【請求項 6】

前記ロックレバー(26、27)は、前記ウェッジ体(3、4)に形成され、かつ前記縦軸(8)に対して垂直方向に延びた凹部(35、36)に、回転可能に収容され、

前記ロックレバー(26、27)が下方に回されたとき、前記凹部(35、36)には、前記固定手段が挿入されうることを特徴とする、請求項3～5のいずれか一項に記載のデバイス(1)。

【請求項 7】

前記支持体(5)の底面(18)は、互いに逆方向に傾き、中心線(21)の領域で互いに接合する2つのアリ凸部などの凸部(19、20)を有することを特徴とする、請求項1～6のいずれか一項に記載のデバイス(1)。

【請求項 8】

それぞれの前記ウェッジ体(3、4)の上面(14、15)には、アリ溝などの傾斜溝(16、17)が形成され、それぞれの前記傾斜溝(16、17)は、互いに逆方向に傾き、前記傾斜溝(16、17)の傾きは、前記支持体(5)のそれぞれの凸部(19、20)の傾きに対応することを特徴とする、請求項7に記載のデバイス(1)。

【請求項 9】

前記ウェッジ体(3、4)を、前記縦軸(8)に対して平行にそれぞれ対向させて移動させることで、前記支持体(5)が垂直軸(13)に対して平行に上昇または下降することを特徴とする、請求項1～8のいずれか一項に記載のデバイス(1)。

【請求項 10】

前記アセンブリは前記支持体(5)に接続されることを特徴とする、請求項1～9のいずれか一項に記載のデバイス(1)。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

- 1 デバイス
- 2 ベースプレート
- 3 ウェッジ体(第1)
- 4 ウェッジ体(第2)
- 5 支持体
- 6 ベースプレートの上面
- 7 ベースプレートの凸部
- 8 縦軸
- 9 第1ウェッジ体の底面
- 10 第2ウェッジ体の底面
- 11 第1ウェッジ体の底面の溝
- 12 第2ウェッジ体の底面の溝
- 13 垂直軸
- 14 第1ウェッジ体の上面
- 15 第2ウェッジ体の上面
- 16 第1ウェッジ体の上面の溝
- 17 第2ウェッジ体の上面の溝

- 1 8 支持体の底面
- 1 9 支持体の凸部
- 2 0 支持体の凸部
- 2 1 支持体の頂上線の中心線
- 2 2 矢印
- 2 3 矢印
- 2 4 ベースプレート歯
- 2 5 ベースプレートの取り付け穴
- 2 6 第1ウェッジ体のロックレバー
- 2 7 第2ウェッジ体のロックレバー
- 2 8 ロックレバーの底面
- 2 9 ロックレバーの底面
- 3 0 ロックレバー歯
- 3 1 ロックレバー歯
- 3 2 矢印
- 3 3 ピン
- 3 4 ピン
- 3 5 第1ウェッジ体の凹部
- 3 6 第2ウェッジ体の凹部
- 3 7 シリンダースプリング
- 3 8 シリンダースプリング
- 3 9 ストッパー
- 4 0 ストッパー
- 4 1 第1ウェッジ体の穴
- 4 2 ロックレバーの穴
- 4 3 ロックレバーの穴
- 4 4 支持体の取り付け穴
- 4 5 シリンダースプリングの位置を固定するための穴
- 4 6 シリンダースプリングの位置を固定するための穴
- 4 7 第1ロックレバーの上面
- 4 8 第1凹部の被覆面